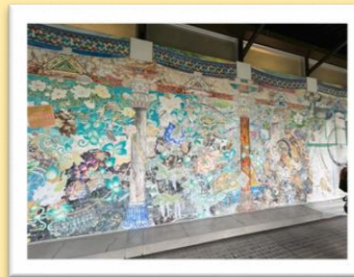


活動③ 現地調査

現地調査を行い、実際に葛生駅周辺の散策をすることで、葛生の町並み・人の流れ・雰囲気进行调查しました。施設訪問も行い、「葛の里壱番館」「広瀬染物店」「葛生化石館」「葛生伝承館」「吉澤記念美術館」「Street Coffeeとらべる」に訪問しました。ここで働いている方のお話を聞くことができ、葛生の魅力や葛生をもっと盛り上げたいなど、地域活性化に肯定的な意見をいただきました。



～感想～

一年間を通じて葛生地域で活動し、地域の魅力に深く触れることができました。地域の方々との対話ができただことは、とても貴重で有意義な経験でした。

コミュニティデザイン学科 村上智哉

活動を通して葛生の良いところを沢山発見出来ました。今後は葛生の魅力や可能性を発信していきたいです。ご協力いただいた地域の方々ありがとうございました。

建築都市デザイン学科 塚越芽玖

葛生地域の魅力的な特色を知ることができ、それらを全国に発信していくことを考えることはとても貴重な経験でした。また、町のあたたかさにも触れることができました。

建築都市デザイン学科 與口真斗

葛生には、石灰・文化施設・くずう原人まつりなど様々な魅力があることが分かりました。これらの魅力をさらに活かせるようなしくみを考えていきたいです。

建築都市デザイン学科 日向凛音

葛生には歴史や文化、産業といった魅力があると知ることができました。また、活動の中で色々な人とお話しすることができ、とても有意義な時間でした。

社会基盤デザイン学科 佐野光彩

地域の方々との交流や現地調査などを通じ、葛生の様々な魅力について知ることが出来ました。一年間の活動は、自身の貴重な経験にもなりました。

社会基盤デザイン学科 清野凌志

主催：宇都宮大学 地域デザイン科学部 3年

コミュニティデザイン学科 村上智哉

建築都市デザイン学科 與口真斗 日向凛音 塚越芽玖

社会基盤デザイン学科 清野凌志 佐野光彩

グループ指導教員 長田哲平

協力：佐野市

問合せ先：佐野市産業政策課 TEL：0283-20-3040

活動内容



令和7年度 活動報告書

葛生駅周辺のにぎわい創出

地域プロジェクト演習とは？

宇都宮大学地域デザイン科学部の3年次学生が、6～8人のグループに分かれ、実際に地域が抱える課題を調査・整理し、解決策を提案する活動のこと。私たちは、「葛生駅周辺のにぎわい創出」というテーマで佐野市産業政策課に協力していただき、活動してきました。

宇都宮大学 地域デザイン科学部
地域プロジェクト演習8班

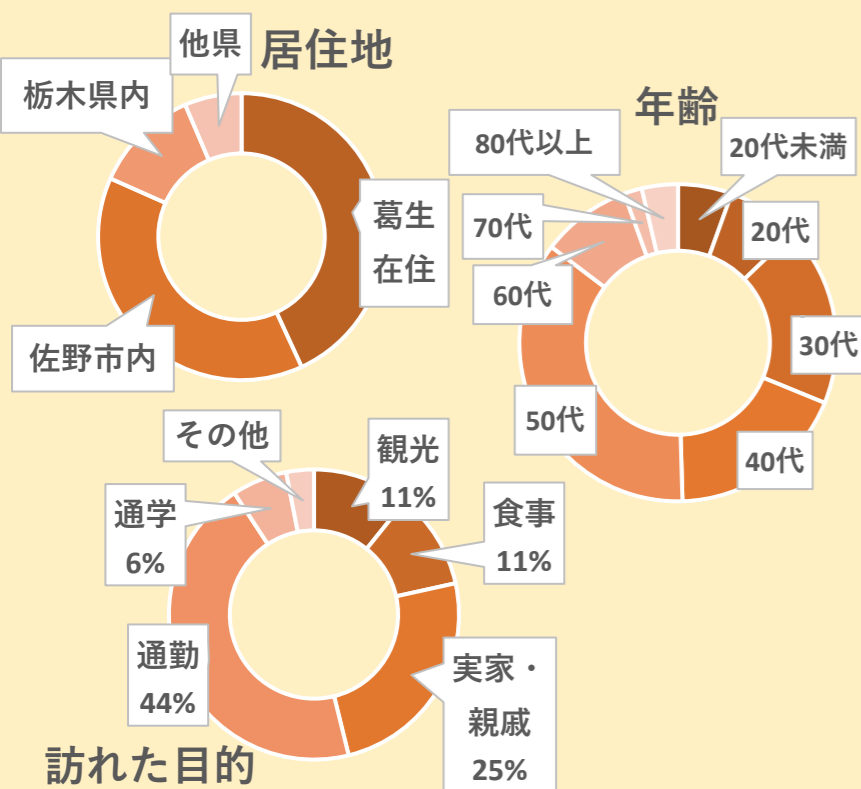
今回の目的

「葛生駅周辺のにぎわい創出」というテーマで、令和7年度から9年度の3年間活動します。今年度は、**課題抽出期**として、データ収集や現地調査などを通して、葛生の課題を明らかにすることを目的としました。

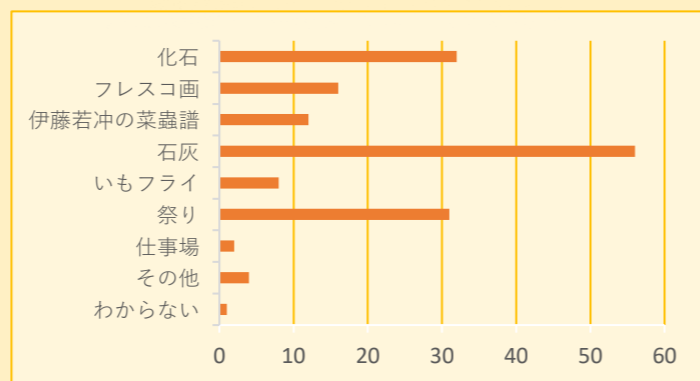
活動① アンケート調査 (一部抜粋)

2025年8月7日～9月30日の期間で葛の里壱番館などでチラシを配り、葛生地域の強み・弱み等を聞くオンラインアンケート調査をしたところ、109件の回答を集めることができました。

[1] アンケートにご協力いただいた方について



[2] 葛生といえば？



約80人中56人の方から
石灰
という意見が出ました！

その他では、味噌まんじゅうや青藍泰斗高校といった回答もみられました。

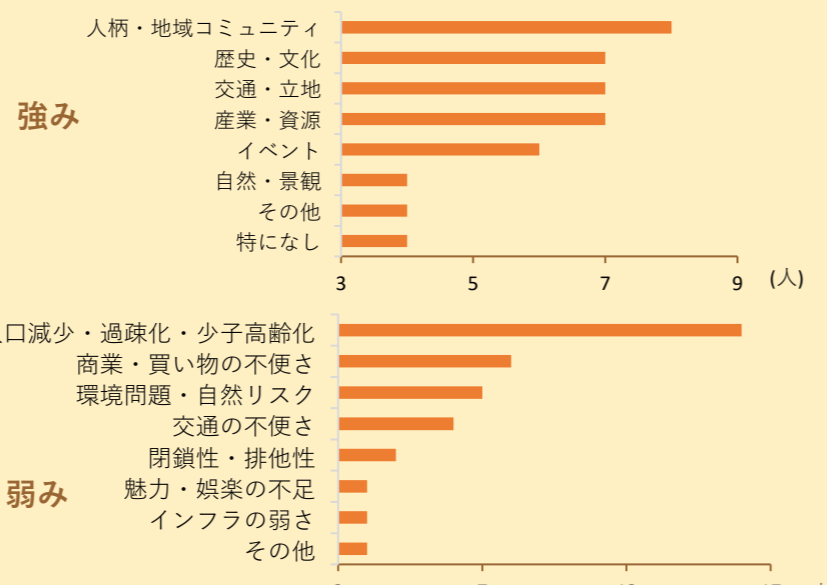
[3] 葛生の強み弱みとは？

花火とか原人祭りなどイベントが充実してる

地域のつながりが強くて良い！

商業施設が欲しい

車がないと移動が大変



活動② ワークショップ

2025年12月7日に、14名(一般参加者8名、学生6名)で「葛生のこれからワークショップ」を行いました。活動①アンケート調査を参考に、葛生地域に関連する課題を深掘りし、それを解決するアイデア・仕組みを考えました。今回は、「娯楽」というテーマで葛生の現状と現状をより良くする仕組みについて意見を出し合いました。

[1] 現状

人口	場所	施設	意識
人口が少ない 学生・子供が少ない	若者が集まれる場所がない 情報を共有できる場所がない	文化施設は多いが、継続的に楽しめる施設がない 既存施設を活用しきれていない	情報発信の不足やまちづくりへの関心の低さ 地域の元気がない 魅力を把握しきれていない

「情報共有できる場所がない」「地域の魅力を把握しきれていない」ことが現状の課題だという共通認識を得ることができた。

[2] アイデア・仕組み

[1] で出た意見の解決に向けたアイデア出しを行いました。

全世代が気軽に利用し、交流することで地域のつながりを活性化させる場、地域内における情報共有・発信の場を作る。

石灰工場ナイトツアー、発破作業見学、石灰お絵描き体験などを企画し、地域内外の人に魅力を感じやすくさせる。

図書館・空き家など既存の設備を活用して、**第3の居場所**を作る！

特に**石灰**に着目した新たな観光資源を生み出す！



[3] 葛生の課題・提案

葛生地域の人々が抱える課題として共通していたものが「時間を潰せる場所や集まってお話できる場所が少ない」という内容であることが明らかになりました。最終的には“集まれる場が欲しい”といった共通認識で終わることができ、これについてさらに追及していく必要があると考えました。